

《令和2年度 栗東歴史民俗博物館運営基本方針》

1. 基本方針

栗東歴史民俗博物館は、地域の優れた歴史的文化遺産を市民の共通遺産として受け継ぎ、次の世代へと伝えていくため、地域にかかわる博物館資料の収集・保存に努め、博物館資料の情報を広く市民に提示することを目的としています。地域文化を物語る資料の掘り起こしを進め、展覧会や体験学習をとおして資料の公開、活用に努めます。住民一人ひとりの自主的な生涯学習活動を支援し、市民に活用される、開かれた博物館づくりを基本に、地域とともに歩み、歴史を身近に感じられるまちづくりの推進に寄与してまいります。

2. 重点目標 「市民とともに楽しみ、広く活動する博物館を目指して」

歴史民俗博物館では、歴史を学び地域の誇りを育む博物館として、地域に関わる資料の収集・保存・調査・研究を進めます。その成果を基に通史展示「栗東の歴史と民俗」の充実に努めるとともに、5本の特集展示などの展覧会を開催し、栗東の豊かな歴史と文化にふれる機会を提供します。また、大字単位で地域の歴史と文化を探求する“小地域展”では、治田地域から川辺地区をとりあげ、地域資料の再発掘に努めます。

開館30周年を迎えるにあたり、滋賀県立琵琶湖文化館との共催により「琵琶湖文化館地域連携企画展」を開催し、関係機関や施設との連携を深めるとともに、旧栗太郡の歴史や文化を広く紹介する機会とします。また、栗東自然観察の森・栗東市立図書館との共催事業「3施設秋めぐり」を引き続き開催し、各施設の利用促進を図ります。

市民とともに楽しみ、広く活動する博物館として、市民学芸員の会や栗東市ボランティア観光ガイド協会の協力を得て各種講座を開催するほか、自治会やコミュニティセンター、各種文化サークル等が主催する事業への出前講座等の機会を活用して、栗東の歴史や文化の普及啓発に努めます。加えて、市民に活用される、開かれた博物館づくりを進めるため、栗東音楽振興会（RISS）との共催事業「RISS ミュージアムロビーコンサート」を引き続き開催します。

文化財の活用に関する社会的なニーズが高まりつつある中において、文化財の保存に適した環境を確保するため、老朽化の進んだ施設や機器の予防保全に努めるとともに、開館から30年を迎える施設の大規模改修計画について具体化を進めます。